

道産菜種で天ぷら油

帯広・エコERRC 20日発売

【帯広】菜種を原料とするバイオディーゼル燃料(BDF)の製造販売に取り組むエコERRC(帯広)は20日、道内産菜種を100%使用した天ぷら油「北海道産なたね油」を十勝管内の道の駅さらべつ(更別村)など5店舗で発売する。近くコップさっぽろでも取り扱う予定だ。

日本植物油協会によると、国内で流通している菜種油は原料の大半を海外に依存しており、「道産菜種油の普及は食料自給率の向上にもつながる」(エコERRC)という。

北海道産なたね油は、油が泡立つ原因となるリン脂質を取り除き、天ぷらがからっと揚がり、油が劣化しにくいのが特長。帯広や更別村などで収穫された菜種を買い取り、十勝管内豊頃町の同社工場で精油した。

エコERRCは、同管

内で廃天ぷら油を回収してBDFを精製。新商品も、取り扱う飲食店や家庭から使用後に回収し、BDFとして

再利用する。815g入り1200円、1650g入り1800円。
問い合わせは同社 ☎0155・49・6611へ。

新発売の「北海道産なたね油」と収穫を迎えた菜種畑

